

2023 年度事業報告

1. 重点方針の実施状況

世界的にコロナの影響を脱し、真の意味でのアフターコロナ時代が到来し、マネジメント業界は再活性化の状況にあると認識しているが、その環境下全日本能率連盟のおかれている位置、役割を熟考すべく、昨年度に続いて今年度も以下の活動を行うこととする：

1) 交流会の開催

会員団体間、または会員団体と全日本能率連盟間との交流を深化または再構築するため、更に、会員団体と全能連認定資格保持者との接点を強化すべく交流会を実施する。

対象：会員団体・全能連資格認定者

2) 検討会の開催

業界団体のおかれている環境を認識し、その中での全日本能率連盟の直面している課題解決を図るため、理事団体を中心としたメンバーによる方向性の検討会を実施する。

対象：会員団体

⇒全能連の重要課題として会員団体数減少、認定資格者漸減の根本対策として、知名度向上や活動内容の周知があると認識し、対応策について上述の交流会・検討会開催以前に正副会長および専務理事による議論を行ったが、最終的な活動方向性に達せず、上記の会合は未開催となった。一方、各論としての知名度向上策、活動内容周知策については2024年度に個別に実施しておくこととした。

3) 研究会の継続

2022年度に着手した研究テーマ「ISO20700:2017の研究」をさらに深めるため、2023年度も継続して研究会を実施する。また年度中に新たな重要テーマが発現した場合にはその追加も検討する。

対象：会員団体・全能連資格認定者

⇒ISO20700:2017の和訳版をもとに、より実践的に利用できるよう、チェックリストの作成に着手、2023年6月8日以降11月7日まで4回の議論を重ね、チェックリストを完成させ、24年1月に第2版を完成した。

2. 2023年度事業の総括

- 過去2回の改善点を踏まえ、第3回目の「全能連マネジメント・アワード」を実施。厳正な審査の元該当各賞を選出した。依然応募者数が少数にとどまっていることを重要課題と捉え、2024年度に向けてプロモーション策を講じていく。
- MC/MI認定事業について、主として既存認定者の高齢化および新規申請者の減少傾向により漸減傾向が続くことに対しては上記アワードとともに全能連および全能連の活動そのものの知名度向上施策が必要と考え、2024年度に向けて対策していく。
- 期末時点での会員数は30団体である。(退会3団体)
- 2023年度決算は当初見込みに対して主として人件費や出張費などの減少により予算比でプラスとなったが、今後の活動見直しや運営体制の世代交代などの課題対応のため今後数年間は支出が収入を上回る財政を予測している。

次頁以降、2023年度事業別活動報告を行う。

3. 事業別計画

公1 経営・マネジメント支援等事業

(1) 全能連マネジメント・アワード事業

2023年度は、「全能連マネジメント・アワード」を以下の通り開催した。

◇応募締切：2023年8月31日

◇一次審査：2023年10月15日→優秀と認められるもの6編を選出

◇二次審査：2024年1月26日→リアル会場での発表形式で実施。

同日実施した審査委員会において、以下受賞者を決定した。

全能連マネジメント大賞

■VM（ビジュアルマネジメント）賞の開発と成果

一般社団法人中部産業連盟 東京事業部 経営革新コンサルティング部 所長 伊東 辰浩
部長 吉田 修二
砂田 貴將
菊地 俊之

コンサルタント・オブ・ザ・イヤー

■「知を共有する組織へ！」上司が部下に暗黙知を教え、部下が上司の暗黙知を学ぶ ～eラーニングを活用した、対話する組織への変革プロジェクト～

株式会社ベーシック 代表取締役 田原 祐子

■中小企業における「事業承継時の組織変革」のポイント

～経営者に依存したトップダウンから、トップダウンとボトムアップの共存へ～

一般社団法人中部産業連盟 経営革新コンサルティング事業部
コンサルタント 小城 紘一

プログラム・イノベーター・オブ・ザ・イヤー

■食品産業のサプライチェーン横断課題解決プラン策定

～食品産業における商品規格書の標準化～

株式会社日本能率協会コンサルティング 生産コンサルティング事業本部
チーフ・コンサルタント 丹羽 輝

特別賞

■中小企業を成功に導くビジネスモデル –その強みと変遷–

一般社団法人東京都中小企業診断士協会 三多摩支部先端ビジネスモデル研究会
代表 山崎 康夫
副代表 谷 譲治
会員 角澤 明
米山 憲一
特別会員 松本京子

■災害時に実際に役立つBCP(事業継続計画)作成方法の開発と普及
一般社団法人中部産業連盟 生産・業務改革コンサルティング事業部
第1部 主任コンサルタント 前田 和彦

以上6編に対し、規程に基づき賞金・記念品を贈呈した。

尚、本年度はインストラクター・オブ・ザ・イヤーおよびアカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤーは該当なし。

(2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

【資格称号認証事業】

*資格認証・認定審査会を開催し、認証を審議した資格は以下のとおり。

- ・新規認証資格：SDGs 経営士（一般社団法人日本経営士会）
- ・認証資格更新：

認証番号 133 巡回監査士補(TKC全国会)

150 ITプランニング・セールス(株式会社日本コンサルタントグループ)

151 ITPSマスター マーケティング・マネジメント (同上)

152 ITPSマスター スーパーセールス (同上)

200 ビジネス・プロセス革新エンジニア (一般社団法人日本経営管理協会)

250 ヒューマン パフォーマンス マネジメント・プロフェッショナル
(株式会社ビジネスコンサルタント)

251 ヒューマン パフォーマンス マネジメント プロフェッショナル
フォア ラインマネージャー (同上)

252 ヒューマン パフォーマンス マネジメント プロフェッショナル
フォア スタッフ (同上)

●期末現在：56資格／18団体（前年55資格／18団体）

【MC/MI認定事業】

・認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMC/MIは全能連ホームページ上で広報した。

●期末現在：MC 562名（前年：584名）、MI 43名（前年：47名）

(3) マネジメント関係調査研究事業

【調査研究】

・2022年度研究のISO20700：2017をさらに4回のオンライン会合とその間の研究によりチェックリストを追記の上第2版として完成させた。

(4) 会員内事業

【会員の入会・退会】

- ・退会：株式会社ソシオテック研究所（2023年6月13日付）
一般社団法人人材開発協会（2024年2月29日付）
株式会社日本マネジメント協会 東部（2024年2月29日付）

●期末現在会員数：30団体

収他1 顕彰者表彰事業

前年度と同様に、4月に募集を開始し9月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施し、顕彰27名、表彰11名（前年26名、表彰12名）を顕彰した。

◇開催日：2023年9月27日（水）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

以 上

2023年度事業報告の附属明細書

2023年度事業報告には、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則」第28条第2項に規定する附属明細書は「事業活動の状況の概要のうち重要なもの」がないため、作成しない。

2024年4月

公益社団法人 全日本能率連盟